

製品名: PUMA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21276**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:21kD;Observed MW:21kD

抗原情報

遺伝子名	BBC3
別名	BBC3;PUMA;Bcl-2-binding component 3;JFY-1;p53 up-regulated modulator of apoptosis
遺伝子 ID	27113.0
SwissProt ID	Q9BXH1
免疫原	ヒト PUMA の合成ペプチド

背景

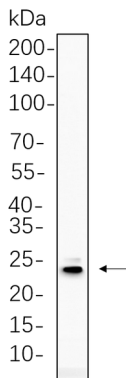
細胞局在: ミトコンドリア。この遺伝子は BCL-2 ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。このファミリーメンバーは

BH3のみを活性化するアポトーシス誘導サブクラスに属します。このタンパク質は直接活性化タンパク質と共存し、ミトコンドリア外膜の透過性亢進とアポトーシスを誘導します。また、抗アポトーシス Bcl-2ファミリーメンバーと結合することで、ミトコンドリア機能不全とカスパーゼ活性化を誘導します。この遺伝子はアポトーシス誘導能を持つことから、がん治療および組織損傷に対する潜在的な薬剤標的となっています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2011年12月]

研究分野

-

画像データ



Hela細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンをPUMAウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H + L)抗体を用いた。